

より良い運営のために  
只見町ブナセンター  
運営委員会現地視察

只見町ブナセンター運営委員会は、只見町ブナセンターのより良い運営に向け、11月20日に現地視察を行いました。

余名沢のブナ林の只見こども芸術計画の作品展示、黒谷地区に整備した豪雪林業体験・観察の森・『自然首都・只見』伝承産品「事業の取組状況、ふるさと館田子倉の視察を行い、意見交換が行われました。

委員からは、「ふるさと館田子倉の伝承産品展示・販売については、ユネスコエコパークを推進するため、よりPRに務めるべき」などの意見が出されました。



▲ふるさと館田子倉を視察する委員

地域の防災のために  
区長連絡協議会 町内研修会

只見町区長連絡協議会は、町内集会施設に設置されている無線機の通信試験や災害備蓄品の確認を行いました。

無線機の通信試験は、災害時の連絡用無線機の受信感度や使用方法を確認するもので、概ね感度良好ではあったものの、一部、屋内において感度が悪い等の課題が確認されました。

備蓄品は、今年度に更新が行われ、今回の確認作業では、備蓄品内容や保存期間の確認などが行われました。

現地での試験等終了後は、朝日公民館で、情報交換が行われ、課題の確認や定期的な実施に向けた意見交換や情報共有が行われました。



▲集会所内で本部（公民館）との無線感度の確認を行う様子

柏市と交流を深める  
学校給食食材交換事業

ふるさと交流都市の千葉県柏市と只見町の給食食材交換事業が行われ、給食食材として柏市から只見町にブルーベリーとかぶ、只見町から柏市にお米（提供：（株）新国農園）がそれぞれ提供されました。

給食時間の前段、柏市立第八小学校と只見小学校をオンライン会議システムで繋ぎ、児童が両市町の紹介や特産物の説明をおこないました。

また、給食時間中も給食風景をオンラインで繋ぎ、食材の味の感想などを共有しながら、給食を楽しみました。



▲柏市の食材が使用された給食を楽しむ児童

安心・安全な地域づくりに取り組む  
渡部勇夫町長 2期目初登庁

任期満了に伴う只見町長選挙で、無投票で再選した渡部勇夫町長が12月16日に2期目の初登庁をしました。役場町下庁舎では、職員が町長の初登庁を拍手で迎え、花束を贈りました。

只見公民館で行われた就任式で、渡部町長は「安心・安全な地域づくり、産業振興、人材育成に取り組んでいきたい。皆さんのお力添えをいただきたい」と職員に向けて訓示を述べました。

2期目の任期は、同日から4年間です。



▲職員からの花束を受け取る渡部町長